

下田メディカルセンター広報誌

下田メディカルセンター

2021.5.1 発行

vol. 24



下田メディカルセンター 新病院長のご挨拶

看護部通信 外国人にも働きやすい職場を作る

賀茂地区在宅医療ネットワークの設立・運営について

病院長 ご挨拶

この度、2021年4月より下田メディカルセンター病院長を拝命致しましたので、ご挨拶を申し上げます。私は2013年1月より当センターにて外科診療に従事し、2017年5月からは副病院長として前任の畑田病院長を補佐しつつ当院の運営に関わってまいりました。

当院はこの5月で開院10年目を迎えますが、当地はもともと医療資源の乏しい地域であり、慢性的な医療スタッフ不足という難題を以前より抱えてきました。昨年からはさらに新型コロナウイルスという新たな問題が加わり、当院の職員にも大きな負荷がかかっているのも事実です。ですがまだまだ終息する兆しのないこの感染症へ対応すると同時に、当院の責務である一般急性期医療をこれまで通り維持させるべくより一層の努力を継続していきます。当院で対応が困難な高度専門的医療や緊急手術を要する症例が発生した場合には、高次医療機関と連携して適切なタイミングで診療をお願いしてまいります。数年前に立ち上げた「在宅医療ネットワーク」は順調に拡大しており、これを利用して今後も訪問診療を行う近隣開業医の先生方の後方支援を行っていきます。また包括ケア病床においてはより地域に貢献できるようレスパイト入院や終末期ケアでの積極的活用を目指してまいります。

地域の中核病院として住民の方々の方々の様々なニーズに応えるため、各医療機関の先生方には今後とも緊密な連携とともにご指導、ご鞭撻を当院に賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

下田メディカルセンター 病院長 **伊藤 和幸**



ご挨拶

下田メディカルセンター管理部の吉野と申します。下田MCレターでは初めてのご挨拶となります。日頃より、地域の医療機関様、関連機関様には、地域医療連携に多大なご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、今もなお終息が見通せない新型コロナウイルス感染症ですが、思い起こせば、発生が確認された当初は、病院長の旗振りにより、臨時の診療会議、医局会を開催し、対策等を協議・共有し、診療・看護体制の構築、感染防止策の実施、検査体制の構築、医療物資不足の工面など、県や一部事務組合等からご支援、職員からの意見をもらいながら全職員で乗り越えてきました。

医療提供をしている医師、看護師、医療スタッフ等の負担も計り知れず、会議や電子カルテ画面でのメッセージ等で、病院長から職員を励ます言葉がありました。企業様や団体様、個人の皆様からも当院へマスク等の医療物資のご寄付のほか、食品の差し入れや激励のお言葉を多数いただき心より感謝申し上げます。地域の皆様からの温かいご支援・ご協力が何よりの励みとなっております。

2021年4月1日より病院長が変更となりました。新たな体制となり、私も精進してまいります。今後とも引き続き下田メディカルセンターにご指導、ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

下田メディカルセンター 管理部長代理 **吉野 清志**





整形外科 かたやま まさよし 片山 正典



はじめまして。整形外科の片山と申します。

手関節を主とした上肢を専門としております。普段は都内にて勤務しており、去年の10月から毎週金曜日に整形外科の外来をこちらで行っております。

当初お話をいただいた際、両親の新婚旅行先ということもあり、これもご縁と何うことに決めました。現状私は、手術に携わってはおりませんが、微力ながら外来診療のお手伝いをできればと存じます。手関節の難治性疼痛などを含め、整形外科についてはお気軽にご紹介ください。東洋医学の併用、手術適応などを含め、治療方針に対して患者が納得できる診療をしてまいります。

看護部通信

外国人にも働きやすい職場を作る

グローバル化は医療の分野でも着実に進んでおり、医師や看護師の海外留学や就業等、自国の外に出て勉強する人が増えています。

わが国では各国との経済連携協定に基づき外国人看護師の受け入れを実施しています。これは単にスタッフを補うことが目的ではなく、諸外国の多様な文化と価値観を看護に取り入れることにメリットがあるのです。当院には、令和2年度、令和3年度に各2名中国人の看護師が入職しました。その際、言語によるコミュニ



ケーション能力は看護をする上で最も重要な要素であることを考えなくてはなりません。全員が自国で看護師の資格を取った後に来日して日本語検定N1を取得し、更に日本の看護師国家試験に合格しての修業となっています。この情報だけでも彼女らが向学心のある優秀な人たちであることがわかります。

日本の看護は「ケア」に重点を置くところがアジア諸国の看護の中で誇るべきことであり、他のアジア諸国の看護師がわざわざ日本まで来て学ぶことはまさにその点なのです。令和2年度に入職し約1年間当院で勤務してきた看護師は「言葉や文化の違いはありますが先輩に丁寧に教えていただき、できることが日増しに増えて楽しいです。(張 森)」 「人々との出会いを大事にし、日本の看護の魅力を見出しています。(伍 慧怡)」とその体験を笑顔で語ってくれます。

外国人の看護師を受け入れる側として注意することは、外国人として括るのではなく、個性を持った一人として理解し長所が伸ばせるよう指導することです。これは、私たちが日ごろからの患者さんはじめ周囲の人々に対する心得と同じです。看護師には社会の変化への適応が課せられています。外国人も仲間として、誰もが働きやすい環境を創造して行きたいです。今後も地域の皆様方のご理解とご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部長 大村 啓子

「賀茂地区在宅医療ネットワーク」の設立・運営について

賀茂地区(1市5町)では人口の減少が著しい上、高齢化率は50%に上る勢いで進んでいます。特に後期高齢者の人口は2025年まで増加を辿り、要介護認定者数もこれに伴い大幅な増加が見込まれる中、訪問診療・訪問看護といった在宅を支える医療資源不足は、深刻な状況となっています。この現状を鑑み下田メディカルセンターでは、訪問診療や往診を受けている患者様の、急変時や訪問診療医の不在時の対応等を担い、住民の皆様が住み慣れた地域で安心して生活を送ることが出来るように、また、訪問診療に当たる医師の負担軽減を図ると共に、より効率的で効果的な在宅医療の推進と地域における在宅医療連携の構築を促進することを目的として、「賀茂地区在宅医療ネットワーク」(以下ネットワーク)を令和元年1月1日に立ち上げました。



概要は、訪問診療・往診を受けている患者で、急変の恐れがある、または終末期にある方を対象に、担当医師が患者様・ご家族にネットワークの概要を説明・利用に対する同意を頂き(個人情報使用同意書)、賀茂地区在宅医療ネットワーク登録カード(今後の治療方針、本人・家族の希望が記載)を記載の上、診療情報提供書と併せ下田MC地域医療連携室にFAX送信し登録を行います。実際にその必要が生じたときには、診療所医師が患者・家族の意向を確認したうえで(診療所医師が訪問できないときは訪問看護師が確認の上主治医に報告)、当地域医療連携室(時間外は外来担当看護師)に連絡を取ります。

当院では、まず登録カードの内容を確認のうえ受け入れを行い診察。ご本人ご家族様と相談の上、治療や入院について、時には死亡診断等の対応を行います。

開設時はテストケースとして在宅医療介護連携推進事業 下田・南伊豆地区の協議委員である上の山鎮目クリニック、飯島医院のご協力のもと2診療所から始め、翌令和2年度からはその結果を踏まえ、他診療所にも声掛けさせて頂き、令和3年3月31日現時点では、ネットワーク参加診療所は11施設、登録者総数は41名となっております。

患者様・ご家族様にとって、入院設備のある当病院と連携していることは、在宅療養に踏み出す上で安心感に繋がり、訪問診療を行う医師・訪問看護師にとっては、業務的・精神的な負担の軽減が図れると共に多職種連携の強化に繋がることを期待し、今後益々このツールを普及啓発して参りたいと考えております。

地域医療連携室 課長代理 木村 健吾

退職常勤医(令和2年3月)

●整形外科 土肥 憲一郎先生

●小児科 土肥 望先生

ご紹介・逆紹介、誠にありがとうございました。

編集後記

万緑の候、卒業や入学、就職などで新生活を始められた方も多いのではないのでしょうか。当院も新入職員の入社、冒頭の挨拶の通り院長の交代もあり心機一転となりました。

もうすぐ母の日ですね。一昨年は日焼け防止の為にストールをプレゼントしましたが、今年は自宅出来るフィットネスグッズを贈ろうかと考えています。

このような状況がいつまで続くかわかりませんが、健康に気を付け皆で乗り越えましょう。



発行

下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市6丁目4-10
TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050
http://www.s-m-a.or.jp/shimoda/

発行責任者 地域医療連携室長 吉野 清志

アクセス

伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE
医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック(外来)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-0005

しらはまクリニック(外来)

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2
TEL.0558-27-3700

なぎさ園(介護老人保健施設)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-6800

海老名ケアサポートセンター

(今里クリニック・介護住宅事業所・サービス付高齢者向け住宅)
〒243-0423
神奈川県海老名市今里一丁目10番12号
TEL.046-232-0606